

防災・原子力学術会議及び県民意見等を踏まえた国土強靱化地域計画(案)の主な修正内容

- ・ 2月19日から3月11日までの間、県民意見の募集及び関係機関へ意見照会を行ったところ、7件(者)24項目の意見等があった。
- ・ 3月9日に開催した防災・原子力学術会議において、有識者の方々から、4項目の御意見をいただいた。
- ・ これらの意見等を踏まえ、以下の6項目について修正を行った。

	修正箇所	修正内容
1	P 9、別-31 「起きてはならない最悪の事態」 8-3	「新幹線等の基幹インフラの 損壊 により復旧・復興が大幅に遅れる事態」 ※原案では「崩壊」としていたが、国の基本計画の表現に合わせて「 損壊 」とする。
2	P 30 施策分野ごとの推進方針 (8)危機管理 <災害応急対策>	施策項目の追加 ○海外からの支援活動の受入体制の整備 ※学術会議でのアドバイスを踏まえ、海外支援の受入に関する項目を追加する。
3	P 33 施策分野ごとの推進方針 (8)危機管理 <原子力防災対策>	施策項目の追加 ○浜岡原子力発電所の安全対策 ※学術会議でのアドバイスを踏まえ、原子力発電所の事故が起きないための取組に関する項目を追加する。
4	P 34 施策分野ごとの推進方針 (8)危機管理 <地域防災力の充実・強化>	施策項目の追加 ○防災に関する専門家の育成 ※学術会議でのアドバイスを踏まえ、防災専門家の育成等についての県内大学との連携に関する項目を追加する。
5	別-16、23 プログラムごとの脆弱性評価結果 2-9 ○鉄道施設の耐震化	「緊急輸送路の機能を確保するため、 現在進められている 鉄道の高架橋・橋梁の耐震対策を 引き続き促進する必要がある。 」 ※現状においても、JR東海が耐震対策を進めていることを踏まえた表現に改める。
6	別-22 プログラムごとの脆弱性評価結果 5-4 道路・鉄道の被害	「浜名湖においては、津波により基幹的陸上ネットワーク（東海道本線、 東海道新幹線 、国道1号等）が被害を受ける可能性がある」 ※第4次地震被害想定では、津波浸水による新幹線の被害は生じないことから、表現から「東海道新幹線」を削除する。